

おゆみ野とホタルの関係

おゆみ野の街をつくる時、「おゆみの道」は谷戸を生かす形で計画された。幅員、12メートル延長 1.3 kmの歩行者専用道路で、「水・桜・蛍・歴史」の4つのデザインテーマをもとに、せせらぎを再生、保存するなど、周辺の泉谷、有吉、大百池の3つの公園と一体的に整備された。平成5年度の第十三回緑の都市賞を受賞した。

夏の夜の風物詩として、ホタルの生育可能な場所を作り、ニュータウンの夜空をいろどった。



公園では住民参加の仕掛けづくりとして、おゆみ野では「ほたる祭り（S63～H9）」を千葉市とともに開催した。

「ほたる祭り」は千葉市が泉谷公園の奥に、ホタルの育成所を作ったのが起こりで深井戸で清流を汲み上げて蛍を育成していた。当初はイベントなどは考えていなかったが、その後、市も大賛成となって「ほたる祭り」が始まった。

「ほたる祭り」は人気があり、最盛期には3万人の来訪者があったのだが、公共施設の中に店を出されては困るという問題が市の方からあった。また警察からは仮設の橋など安全対策上問題があるといわれ、自治会からも自分たちのお祭りでないことや、公園内の芝生が壊されるなどの苦情があり、中止してほしいとの要請文が所長に出された。